

2025 年度日本植物病理学会関東部会プログラム

東京都府中市 東京農工大学 第1講義棟 25 番教室

(2025 年 9 月 11, 12 日)

講演 10 分 (予鈴 8 分), 討論 2 分

9 月 11 日 (木) 午前

9:30 開会挨拶

座長：煉谷裕太郎 (宇都宮大農)

1. 9:36 ○岩本健・上松寛・上田幸史・松浦貴之 (横浜植防)
***Pseudomonas viridiflava* の種特異的リアルタイム PCR プライマーの開発**
2. 9:48 ○田中さおり・大石盛伝・藤原裕治・牛久修一・柳澤広宣・松浦貴之・福ヶ迫晃 (横浜植防)
タイ産ナス種子からのコルムネア潜在ウイルス (CLVd) の検出及びその特性について
3. 10:00 ○辻田理紗¹・松永航²・中保一浩^{1,3}・上山健治¹・眞岡哲夫^{1,3}
(¹(株)農研植物病院・²農研機構植防研・³農研機構本部)
輸出検疫に向けた Real-time PCR によるアラビスモザイクウイルスの検査系の開発
4. 10:12 ●佐藤優生・篠原弘亮・岩波徹・キムオッキョン (東京農大院農)
Tulip breaking virus (TBV) の遺伝的多様性解明および検出法の開発

座長：晝間敬 (東大院総合)

5. 10:24 ●喜田玲¹・喜多光徹¹・内田百岳²・Lassagne Alexandre^{3,4,5}・Didier Tharreau^{3,4,5}・
Elisabeth Fournier^{3,4}・有江力⁶・鎌倉高志¹・荒添貴之¹
(¹東理大院・²千葉大・³Univ. Montpellier・⁴CIRAD・⁵INRAE・⁶農工大院農)
**イネいもち病菌における Pro1 転写因子機能変異による不稔化は長期培養により生じる
適応進化株と同等の競合優位性を付与する**
6. 10:36 ●石垣杜真・大里修一 (明治大院農)
イネいもち病菌 PoSO の発現量依存的調節と病原性への関与

7. 10:48 ●三富春佳・牧晋太郎・大里修一 (明治大院農)
イネいもち病菌ニトロン酸モノオキシゲナーゼ 1 および 5 の機能解析と病原性への関与評価
8. 11:00 ●杉本侑香¹・佐々木信光¹・小松健¹・眞下孝治²・本林隆²
(¹農工大院農・²農工大 FS センター)
マコモの茎頂部位におけるマコモ黒穂菌の存在様式とその時季的变化について
9. 11:12 ●MD Nazrul Islam・Nahid Akter・Tsutomu Arie・Ken Komatsu
(Unit. Grad. Sch. Agri. Sci., TUAT)
Sensitivity analysis of *Colletotrichum* spp. from Japanese turfgrass to pyribencarb, metconazole, and benomyl and detection of a *TUB2*E198A mutation in benomyl

座長：前島健作（東大院農）

10. 11:24 ○Celynne Ocampo-Padilla^{1,2}, Shunsuke Nozawa¹, Kyoko Watanabe¹
(¹Tamagawa Univ.・²CLSU)
Specific primers for detecting genus *Lasiodiplodia* and *L. theobromae* for diagnosing cacao diseases
11. 11:36 ○藤川貴史¹・羽富弘枝¹・渡部保容²・古川聡史²・岡部良紀²・田辺卓²
(¹農研機構植防研・²東洋製罐 GHD)
DNA マイクロアレイを用いた種子病害一括検出法の開発およびアブラナ科種子伝染性細菌の検出例
12. 11:48 ○太田江美¹・岡部良紀²・渡部保容²・古川聡史²・田辺卓²・竹山さわな¹・久保田健嗣¹
(¹農研機構植防研・²東洋製罐 GHD)
ナス科トバモウイルス 5 種の共通プライマーによる PCR と種特異的プローブを搭載したマイクロアレイを用いた一括検査法の開発
13. 12:00 ○井上真紀・納富圭太郎・宮本優太・吉岡美咲・小松健 (農工大院農)
植物ウイルス感染による花の変化と送粉者の行動変容

<昼休み> 12:12~13:30

9月11日(木)午後

座長：野澤俊介(玉川大農)

14. 13:36 ○植松清次¹・栢森美如²・日恵野綾香³・大坪佳代子³・櫻井美希⁴・作田耕平⁵・森山裕充¹・景山幸二³
(¹農工大細胞分子・²秋田県大生資・³岐大 CENSS・⁴㈱ツムラ・⁵玉川大農)
***Phytophthora cryptogea*によるホソバオケラ疫病(新称)**
15. 13:48 ○佐藤豊三^{1,2}・安食菜穂子¹・棚谷綾介¹・吉松嘉代¹・河野徳昭¹
(¹医薬健康研薬植セ・²新潟食農大)
インドジャボクの苗に葉の黄化と早期落葉を起こす内生性 *Lasiodiplodia theobromae* sensu stricto
16. 14:00 ○前田陽佑・嘉喜柊杜・窪田昌春 (農研機構植防研)
ナス褐色輪紋病の病原菌の再同定および病名の検討
17. 14:12 ○菅原幸哉¹・歐玠晴²・岡崎和之²・前原泰徳³・玉置宏之³・清多佳子^{4,5}・月星隆雄¹
(¹農研機構畜産部門・²農研機構東北農研・³日本草地畜産種子協会・⁴農研機構本部・⁵内閣府)
ライグラス類に苗立枯病を引き起こす *Pythium* および *Globisporangium* 属菌について(病原追加)

座長：柏毅(国際農研)

18. 14:24 ●加藤輔・岩波徹・キムオッキョン・篠原弘亮 (東京農大院農)
***Alternaria alternata* によるペピーノ黒斑病(新称)の発生**
19. 14:36 ○大川美沙・海老原克介 (千葉農林総研)
イヌマキペスタロチア病の病原性評価方法
20. 14:48 ○松尾宏樹¹・高島勇介²・栗田加奈子¹・内藤健²・福岡修一¹
(¹農研機構作物研・²農研機構資源研)
日本に分布するダイズ葉焼病菌の遺伝的多様性とゲノム比較解析
21. 15:00 ○久保晶子¹・山城都¹・山崎周一郎¹・中山喜一²・廣岡裕吏²
(¹栃木農総研・²法政大植物医科)
イチゴ萎黄病菌が持つ *SIX* 遺伝子の変遷と耐病性育種素材の探索
-

<休憩> 15:12~15:24

座長：宇佐見俊行（千葉大院園芸）

22. 15:24 ●米芻航平・キムオッキョン・岩波徹・篠原弘亮（東京農大院農）
トマトかいよう病に対するペピーノ台接ぎ木苗利用の有効性
23. 15:36 ●齋藤生翔¹・古賀元樹²・高野理絵²・大里修一¹
(¹ 明治大院農・² アサマ化成株式会社)
プロタミン混合資材によるレタス根腐病の発病抑制効果の評価
24. 15:48 ○Yuniar Devi Utami, Kei Hiruma（東大院総合）
細菌由来揮発性化合物による植物防御応答の活性化と植物保護
25. 16:00 ●Newfeld Jacy・青木誠志郎・羽場裕美・晝間敬（東大院総合）
病原菌特異的転写因子を介した病原性の制御は宿主のリン欠乏応答遺伝子に依存する
26. 16:12 ●吉野飛鳥・大里修一（明治大院農）
ブドウ晩腐病菌に対する合成サイトカイニンの生育阻害と環境ストレス条件の相互作用

座長：井村喜之（日大生物資源）

27. 16:24 ●大嶋慶・大里修一（明治大院農）
ブドウ晩腐病菌における *CfVrf1* 欠損株を用いた付着器非依存的な侵入機構の解析
28. 16:36 ●谷純花¹・大澤武留²・武末和穂¹・工藤健央²・入枝泰樹³
(¹ 信大農・² 信大院総合理工・³ 信大学術院農)
非メラニン化付着器から植物に侵入する新奇炭疽病菌群の出現とその侵入特性
29. 16:48 ●赤羽優乃香¹・白鳥倅誠¹・入枝泰樹²（¹ 信大農・² 信大学術院農）
Colletotrichum 属菌内に保存された付着器を介さない菌糸先端侵入様式と形態分化の特性
30. 17:00 ●田中聡大¹・竹内浩美²・平賀さつき²・伊藤研児²・入枝泰樹³
(¹ 信大院総合理工・² 信大農・³ 信大学術院農)
炭疽病菌群の侵入を阻止するシロイヌナズナの非宿主抵抗性構成因子の同定と
その重層構造

31. 17:12 ●氏松蓮¹・Paweł Bednarek²・晝間敬¹ (東大院総合・²IBCH PAS)
シロイヌナズナトリプトファン由来抗菌物質代謝経路による内生糸状菌 *Colletotrichum tofieldiae* の病原性抑制機構
-

17:30~20:00 情報交換会 西東京国際イノベーション共創拠点 ラウンジ

9月12日(金)午前

座長：浦山俊一(筑波大生命環境系)

32. 9:36 ○岩渕望¹・北沢優悟²・松本旺樹¹・赤堀真子¹・前島健作¹・大島研郎³・難波成任¹・山次康幸¹ (東大院農・²山口大農・³法政大植医)
花の葉化誘導因子ファイロジェンによる花器官形成 MADS 転写因子の分解誘導スペクトラム
33. 9:48 ●有井鈴花¹・作田康平^{2,3}・福原敏行¹・植松清次³・森山裕充¹ (農工大院農・²玉川大農・³農工大農)
多犯性卵菌 *Phytophthora capsici* に感染する新規ウイルスの性状解明
34. 10:00 福澤諒太¹・小倉里江子²・中島雅己³・○平塚和之⁴ (横浜国大理工・²横浜バイオテクノロジー・³茨城大農・⁴横浜国大環境情報)
灰色かび病菌の線状プラスミド様 DNA の検出について
35. 10:12 ○作田康平^{1,2}・Ondrej Hejna³・Mart Krupovic⁴・Cristiana Maia⁵・Marilia Jung³・小松健²・森山裕充²・Thomas Jung³・Leticia Botella³ (玉川大農,²農工大院農,³MendelU PRC,⁴UParis Cité PI,⁵UAlg CCMA)
Halophytophthora thermoambigua CRESS virus 1 の細胞内局在と機能未知タンパク質に関する研究
-

座長：竹山さわな(農研機構植防研)

36. 10:24 ○煉谷裕太郎 (宇都宮大農)
チューリップ条斑ウイルスのキャップスナッチング機構

37. 10:36 ●河上真歩^{1,2}・佐々木信光^{1,2}・松下保彦^{1,2} (1農工大院農・2農工大遺伝子)
タバコの転写因子 NtERF#229 によるトマトモザイクウイルス増殖抑制効果
38. 10:48 ●山本桐也・鈴木拓海・岩渕望・前島健作・難波成任・山次康幸 (東大院農)
蛍光タンパク質を発現する pepino mosaic virus ベクターの構築
39. 11:00 ●井上優希¹・陳夢月²・伊藤喜之³・久田美貴³・小松健^{1,2}・松下保彦^{1,2,4}・佐々木信光^{1,2}
(1農工大院農・2農工大連農・3農工大スコープ・4農工大遺伝子)
ジャガイモ X ウイルス移行タンパク質とタバコレモリン NtREM1.2 の相互作用に関する宿主タンパク質のプロテオーム解析

座長：藤川貴史（農研機構植防研）

40. 11:12 ●田中修輔¹・大島研郎¹・染谷信孝²・諸星知広³・濱本宏¹
(1法政大植医・2農研機構植防研・3宇都宮大院地域創生)
野菜類軟腐病菌株の病徴進展と菌体の運動性の解析
41. 11:24 ●森本葉梨¹・坂田七海^{2,3}・石賀康博⁴
(1筑波大院生命地球・2岡山大農・3岡山大院環境生命自然科学・4筑波大生命環境)
ダイズ由来イソフラボンによるダイズ斑点細菌病防除効果と作用機構の解明
42. 11:36 ●井上萌¹・白杵義侑¹・坂田七海^{2,3}・森本葉梨¹・宮川茉莉¹・石賀康博⁴
(1筑波大院生命地球・2岡山大農・3岡山大院環境生命自然科学・4筑波大生命環境)
**キャベツ黒斑細菌病菌 *Pseudomonas cannabina* pv. *alisalensis* における植物毒素
コロナチンの産生調節因子の探索 (2)**
43. 11:48 ●宮川茉莉¹・森本葉梨¹・井上萌¹・白杵義侑¹・坂田七海^{2,3}・石賀康博⁴
(1筑波大院生命地球・2岡山大農・3岡山大院環境生命自然科学・4筑波大生命環境)
キャベツ黒斑細菌病菌に対するアシベンゾラル S-メチルの作用機構解明

12:00 閉会挨拶

午後は、同会場にて引き続き『若手の会』が開催されます（参加費無料）。

講演会場：第1講義棟25番教室（下図11、2階）

休憩室：第1講義棟21番教室（下図11、2階）

生協（昼食可）：下図19

西東京国際イノベーション共創拠点「農食」（昼食可）：下図41、1階

情報交換会：9月11日（木） 17:30～20:00 西東京国際イノベーション共創拠点ラウンジ
（下図41、3階、エレベーターをご利用ください）
(<https://tuat-hub.com/floor-content/>)

役員会：9月11日（木） 12:20～13:25 農学部本館第3会議室（下図10、2階）



